

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校札幌デザイナー学院
設置者名	学校法人北海道安達学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	総合デザイン	夜・通信	924 単位時間	160 単位時間	
	総合デザイン研究	夜・通信	442 単位時間	80 単位時間	
専門課程	ビジュアルデザイン	夜・通信	824 単位時間	160 単位時間	
	インテリア	夜・通信	1,134 単位時間	160 単位時間	
	ファッション	夜・通信	1,000 単位時間	160 単位時間	
(備考) 上記のビジュアルデザイン、インテリア、ファッションの3学科は学科編成上の統合の為募集停止。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学習案内/学習指導計画として、入学時、又、進級時、各期オリエンテーション時に紙面にて配布と説明 https://www.sdg.ac.jp/oati/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校札幌デザイナー学院
設置者名	学校法人北海道安達学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

役員名簿の閲覧申し出にて開示 https://www.sdg.ac.jp/oati/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前、安達事業グループ ホテル グリーンプラザチェ ーン 総 料理長 萬屋調理 師会 役員	R1. 7. 1 ~ R3. 6. 14	法人の経営に関する 重 要事項を審議す る
非常勤	現 ㈱フジタカ 会長	H30. 5. 14 ~ R4. 5. 13	法人の経営に関する 重 要事項を審議す る
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

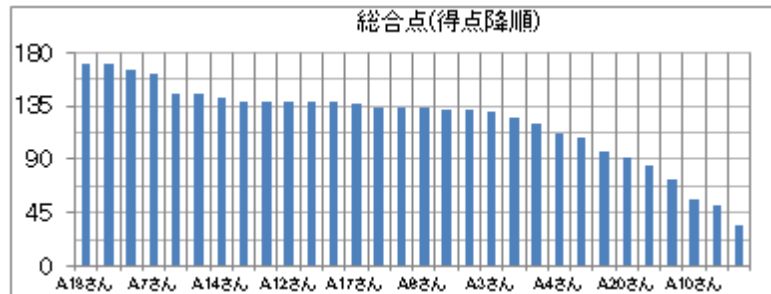
学校名	専門学校札幌デザイナー学院
設置者名	学校法人北海道安達学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1回以上の教育課程編成委員会を以下目的で実施。 ①就職実績など教育成果、②カリキュラム、③教育環境・教材など、について審議。教育効果検証の場として位置付け、社会に貢献できる人材を育成していくための継続的改善について意見交換を行う。教育編成委員会の審議結果を基に、学校担当が中心となってカリキュラムなどの見直しを行い、翌年度のカリキュラムに反映させている。 <p>また、上記等、授業科目等の概要については職業実践専門課程の情報公開としてHPにて公表。</p> <p>講師側は各年次、各期にて講師会や勉強会を開き、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。</p> <p>学生には各年次、各期にてオリエンテーションを行い、学生心得、シラバスの配布、授業内容や到達目標、成績評価の基準や卒業要件等の確認説明を行う。</p>	
授業計画書の公表方法	学習案内/学習指導計画として、入学時、又、進級時、各期オリエンテーション時に紙面にて配布と説明
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>■成績評価の基準・方法：期末考査・出席率・授業態度</p> <p>各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100-85点)・B(84-70点)・C(69-50点)・D(再試合格)・E(0点/再試不合格)の成績評価を行う。</p> <p>2020年1年生から成果物の判定にルーブリック評価を導入、判定基準の明示化を進め6段階評価を行う(S(100~90)・A(89~80)・B(79~70)・C(69~50)・D(単位認定)・E(49~))。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

各前期、後期中に上記方法にて各科目ごとに5段階A・B・C・D・Eの成績評価を行っている。各科目各成績を点数化(A=10, B=7, C=5, D=3, E=0)し、各個人の総合成績として得点化し、成績分布の把握を行い、下位25%者の確認、成績評価方法の偏りやばらつきや難易度設定や公平性等、カリキュラムや授業編成の改訂情報として活用している。



※6段階評価の点数化基準(S=10, A=8, B=6, C=4, D=2, E=0)

客観的な指標の算出方法の公表方法	学習案内/学習指導計画として、入学時、又、進級時、各期オリエンテーション時に紙面にて配布と説明
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。 卒業認定基準 ・出席率 90%以上・単位修得率 85%以上・卒業制作の完成・学費の完納	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学習案内/学習指導計画として、入学時、又、進級時、各期オリエンテーション時に紙面にて配布と説明

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校札幌デザイナー学院
設置者名	学校法人北海道安達学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sdg.ac.jp/oati/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sdg.ac.jp/oati/
財産目録	https://www.sdg.ac.jp/oati/
事業報告書	https://www.sdg.ac.jp/oati/
監事による監査報告（書）	https://www.sdg.ac.jp/oati/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	総合デザイン	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間	200 単位時間	単位時間	1648 単位時間	単位時間	単位時間
			1,848 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
380人		83人	4人	8人	15人	23人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業論文、卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100-85点)・B(84-70点)・C(69-50点)・D(再試合格)・E(0点/再試不合格)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。 卒業認定基準 ・出席率90%以上・単位修得率85%以上・卒業制作の完成・学費の完納
学修支援等
（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、AO 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生食堂や学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
65人 (100%)	1人 (1.5%)	50人 (76.9%)	14人 (21.6%)
(主な就職、業界等) 写真工芸社、博報堂 PDS、北海道新聞 HotMedia、アリカデザイン、メディアコム、石栗写真館、クアトロ A、三景スタジオ、HTB 映像、横浜工務店、北海道美術センター、オンワード樫山、アーバンリサーチ他等 (就職指導内容) 接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス能力検定 56 名、リビングスタイリスト 12 名、建築 CAD 検定 6 名、ファッションビジネス検定 7 名、ファッション販売能力検定 4 名、色彩検定 7 名、第 59 回学生美術全道展(北海道新聞社・全道美術協会主催)優秀賞他等。

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
147 人	6 人	4.1%
(中途退学の主な理由) 学修意欲低下、進路変更、病気療養、経済的な理由他		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談の実施、教職員同士の情報共有、カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	総合デザイン研究	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	850 単位時間	単位時間	単位時間	924 単位時間	単位時間	単位時間
			924 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		1人	0人	5人	6人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業論文、卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100-85点)・B(84-70点)・C(69-50点)・D(再試合格)・E(0点/再試不合格)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。 卒業認定基準 ・出席率 90%以上 ・単位修得率 85%以上 ・卒業制作の完成 ・学費の完納
学修支援等
（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、AO 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生食堂や学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (100.0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 第61回学生美術全道展「優秀賞」「入選」 https://www.sdg.ac.jp/snews/illustration/Zendouten20191007/ https://www.sdg.ac.jp/snews/illustration/gallery7-20191025/
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談の実施、教職員同士の情報共有、カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	ビジュアルデザイン学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間 単位時間／単位	200 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	1648 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
	1,848 単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		45人	1人	7人	5人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業論文、卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100-85点)・B(84-70点)・C(69-50点)・D(再試合格)・E(0点/再試不合格)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。卒業認定基準 ・出席率90%以上・単位修得率85%以上・卒業制作の完成・学費の完納
学修支援等
（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、A0 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生食堂や学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	1人 (2.6%)	26人 (68.4%)	11人 (29.0%)
（主な就職、業界等）写真工芸社、博報堂 PDS、北海道新聞 HotMedia、ア리카デザイン、メディアコム、石栗写真館、クアトロ A、三景スタジオ、HTB 映像等			
（就職指導内容）接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））ビジネス能力検定 56 名、第 59 回学生美術全道展（北海道新聞社・全道美術協会主催）優秀賞他等。			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47 人	2 人	4.3%
(中途退学の主な理由) 体調不良による休学、学習意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談の実施、教職員同士の情報共有、カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	インテリア学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間 単位時間／単位	398 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	1450 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			1,848 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		17人	0人	3人	4人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業論文、卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100-85点)・B(84-70点)・C(69-50点)・D(再試合格)・E(0点/再試不合格)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。卒業認定基準 ・出席率90%以上・単位修得率85%以上・卒業制作の完成・学費の完納
学修支援等
（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、A0 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生食堂や学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0.0%)	12人 (92.3%)	1人 (7.7%)
（主な就職、業界等）横浜工務店、北ガスフレアスト、樋口、マルワホーム企画、リーテック、北海道美術センター他等			
（就職指導内容）接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））リビングスタイリスト12名、建築CAD検定6名他等。			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	1人	5.6%
(中途退学の主な理由) 病气療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	ファッション学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間 単位時間／単位	334 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	1514 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
	1,848 単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		14人	1人	2人	6人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業論文、卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100-85点)・B(84-70点)・C(69-50点)・D(再試合格)・E(0点/再試不合格)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。卒業認定基準 ・出席率90%以上・単位修得率85%以上・卒業制作の完成・学費の完納
学修支援等
（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、A0 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生食堂や学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0.0%)	11人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等）オンワード樫山、アーバンリサーチ、創和プロジェクト、ツツキ、アダストリア、ユナイテッドアローズ他等			
（就職指導内容）接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））ファッションビジネス能力検定6人合格、色彩検定6人合格、ビジネス検定12人合格			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	2人	12.5%
(中途退学の主な理由) 学修意欲低下、人間関係の不一致		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合デザイン	150,000 円	730,000 円	250,000 円	
総合デザイン研究	150,000 円	730,000 円	250,000 円	
ビジュアルデザイン	150,000 円	730,000 円	250,000 円	
インテリア	150,000 円	730,000 円	250,000 円	
ファッション	150,000 円	590,000 円	250,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdg.ac.jp/information/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員会は学校法人北海道安達学園に位置付け、本法人の各学校に関係の深い企業等関連の方々を中心に、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献、国際交流を評価項目として自己評価し、意見等を聞き、翌年以降の教育活動や学校運営に反映させる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北海道デザイン協議会 会長	2020年4月1日～2021年3月31日	企業等委員
株式会社きしだ Studio BACU CGI チ-モデルカ-	2020年4月1日～2021年3月31日	企業等委員
株式会社宿屋ネットワーク 代表取締役	2020年4月1日～2021年3月31日	企業等委員
株式会社カメラのカネミチ 代表取締役	2020年4月1日～2021年3月31日	企業等委員
ジョイフルエーケー	2020年4月1日～2021年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdg.ac.jp/information/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdg.ac.jp/
--